

経営体の概要

- ・所在地:岡山県加賀郡吉備中央町
- ・経営体名:有限会社ダイナミック
- ・栽培作物・作付面積
水稲9.6ha(主食用8.2ha、WCS1.4ha)、黒大豆1ha
- ・農業従事者数:5人(令和5年12月現在)

導入技術

- ・ドローン(株)クボタ製 農業用マルチローターMG-1K



ドローンでの農薬散布作業

ドローンによる薬剤の散布前(防除前日)と散布後(防除7日後)で、カメムシの発生数が減少し、防除効果が確認できた。

カメムシの捕獲数調査(頭/20網)



(出穂14日前までに畦畔の草刈)



(出穂7日前に畦畔の草刈)

※平成30年作での調査
カメムシ防除効果

導入経緯

- 中山間地の狭小な水田において、動力噴霧器による病虫害防除を行ってきたが、作業時間もかかることから、規模拡大の妨げとなっていた。
- そこで、農薬散布の労力軽減を図るため、平成30年にドローンを1台導入した。

取組の特徴・効果

- 中山間地域での慣行の動力噴霧器による病虫害防除に比べ、作業時間が大幅に減少した。
 <分散した不整形な狭小農地110aの農薬散布作業時間>
 - ★ドローンの場合:90分
(うち、農薬散布の飛行時間50分)
 - ★動力噴霧器の場合:220~330分
- 障害物等で無人ヘリ防除ができない水田でも、ドローンでは防除が可能であった。
- ドローン防除によるカメムシの防除効果や労力軽減が確認できたため、大型米麦農家等へドローン防除技術の導入による規模拡大を推進する。
- 条件の悪い水田でも省力的に適期防除することが可能となるため、地域全体の水稲の品質向上が期待される。